

会議名	第2回市民ワークショップ		
特記事項			
期 日	平成21年8月6日(木)	時 間	19:00~21:00
場 所	市役所北別館第一会議室	出席者	市民:31人 職員:8人 事務局:9人

協 議 内 容 お よ び 結 果

開会 <19:00>

地域福祉推進室甲斐田室長より第2回ワークショップ(WS)開催のあいさつ。
第1回のWSの様様(写真含む)や議事録を市のサイトにアップしたい。ついでには掲載に当たって、参加の皆さんの了解をいただきたい、第2回目以降も同様にアップしていきたいとの申し出を行った。その結果、特に異議はなく了解を得た。引き続き、榊ぎょうせいの木下氏から、ワークショップフロー図に基づき、今回の作業工程の説明があった。作業の内容は、下記の通りである。

1. WSの開催<19:05:20:50>

(1) 前回に引き続き身近な人の生活課題をカード化<19:05-19:35>

第1班~第4班に分かれて、第1回WS以降に各メンバーが考えてきた生活課題をカードに追加記入し、類似のカード付近に貼りつけていった。(本日追加したカードには、「6」という記号を記入)

(2) 集約作業<19:35-19:55>

第1回WSで貼り付けたカードと本日追加したカードを集約し、メンバーの話し合いのもと「集約キーワード」を作成した。

(3) 自助、共助の識別作業<19:55-20:50>

集約作業が終わったら、カードをグループリーダーが一つひとつ読み上げ、「自分・家族でできること・できないこと」をメンバーの話し合いのもとでカードを振り分けた。この際、自分でできることにはカードに「○」を記入、できないことには「×」を記入した。

次に、自分・家族でできないことの「理由・背景・問題点」及び取り組み主体について、十分時間をかけて話し合った。この「理由・背景・問題点」を記すカードにはカードの上端に赤ラインをつけることとした。

自助、共助の識別はおおむね完成したが、「理由・背景・問題点」の整理、また、「どこがやればできるのか」といった点まで突っ込んで議論をするには時間が不足し、この作業は次回に持ち越しとなった。

→ ワークショップ検討結果は、別紙参照

(4) グループリーダーによる班の意見の総括

第1班の意見：現在集中的に話し合っているのは、障害者の問題。相談する施設がよくわからない。それを解決するにはどうすればよいか、それらをサポートするにはどうすればよいのか等を話し合った。このほか、防犯、公民館、リサイクルといった問題について話し合っているが、次回以降皆さんの意見をまとめて行く。

第2班の意見：地域のつながり、コミュニティ、ボランティア等10項目ほど検討している。現状では、○×をつける程度で終わっている。生活課題ということで、現在自分たちでできないことが多くあげられている。今後は、このできないという理由や背景を検討して行く。

第3班の意見：現在あげられた生活課題を17項目に分けている。○×記入から、理由・背景にまで一部取り組んでいる。やはり×が多い。自分・家族で対応できる項目は少ないようだ。例えば、大型店の進出により近くで買物ができにくくなった、というようなことである。また、隣近所の様子が分からないというようなこともある。その理由を考えると「生活様式の変化」ということにつき当たる。このような問題は、自分たちでは手がつけにくい。その他、駐車の問題、認知症患者の問題などたくさん課題がある。これらは次回突っ込んで検討する。

第4班の意見：生活課題を9項目に分けた。高齢者、リサイクル、ペット等と各種の項目がある。今後これらを十分検討して、いい方向に持って行くこととする。

会議名	第2回市民ワークショップ		
特記事項			
期 日	平成21年8月6日(木)	時 間	19:00~21:00
場 所	市役所北別館第一会議室	出席者	市民:31人 職員:8人 事務局:9人

協 議 内 容 お よ び 結 果

(5) 和田教授のコメント

数多くあげられた課題をどう洗い直すかである。課題は相互に関連している。単独で問題があるわけではない。多くの生活課題を出し合ったが、課題を持つ人がいつもサービスの受け手(受動的な態度)という発想だけでよいのか。例えば認知症の人ができることがある、精神障害者だからこそ気づく豊かさもある。少し見方を次のステージで変える必要がある。

町内公民館制度は大牟田の素晴らしい伝統と財産であり、大変いい制度である。確かに組織率の低下、若年者の不参加という課題はあるが、町内公民館があることでプラスになっていることを私たちはもう一度洗い直す作業が必要である。

今後、課題→理由・背景→解決策の方向を整理するにあたっては、市民のライフステージ(子ども、青年、壮年、高齢者等)や公民館活動(防犯・防災、マナー・あいさつ等)、生活(労働等)といった切り口で考えることができる。若年性認知症や難病など、カードに出ていなくても私たちの周りにいる人たちのことも考えておく必要がある。

解決策を考える際には、例えば、犬・猫の問題(地域には好きな人も嫌いな人もいる)や、子育ての問題(預けたい人、預ることができる人)等、いろんな面から捉える必要がある。今出されているカードの中にたくさん解決策が含まれていると思う。

さらに、相互の関連性を考える必要がある。例えば、青色カードの子育てと高齢者(子どもの問題を考えるときにどう高齢者と結びつけるか)の関係、地域の商店街と大規模店舗との関連等、テーマを地域の社会資源との関連で捉える必要もある。

そのような中から素晴らしい方向性が生まれると思う。

3. 次回までのお願いと次回の予告 <20:50-21:00>

市民協働推進室山田室長より閉会のあいさつ。素晴らしい出席率に感謝。次回も活発なご意見をいただきたい。

次回は、8月21日(金)19:00より開催。

■第2回 地域福祉計画に関するワークショップ 検討結果■

第1班

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
交通 (手段)	×		交通の便(費用や本人の状態により利用しづらかったりする)	
	×	6	自転車利用の高齢者が多くけど安全対策が不十分、見ていてハラハラ	
	×	6	市内の殆どが歩道のデコボコで歩きにくいし、自転車も通りにくい	
	×		交通量が多くて子どもに「危ない」ばかりいっていただけない	
	×	6	場所によって急に狭くなる道(歩道)がある。又、夜暗い所もある。歩行者にとって安全な道に改善できれば	
	×		子どもの通学路、環境が悪い	
相談先	×	6	隣人とのトラブルがあるので誰か間に入って欲しい	
	×		認知症や高齢者の方への訪問販売や訪問販売の電話	
	×	6	怪しい請求のハガキが来た	
	×		情報伝達手段しつかりしていない(公民館・隣組・民生委員)	
高齢者	○		高齢の親と連絡とれない場合、困ったことが(隣の人に電話した)	
	×		生活面での(例えば草取り等)支援をすることで精神的に安心してもら	
	×		独居高齢者、草取り近所で?シルバー人材 年1回 1ヶ月	近所のサポートがあれ
	×		子育て世代や元気な中年が高齢者に無関心(なってみないとわからない)	
	×		近所の1人暮らしの人が風邪を引いて3日間、水だけ飲んで何とか治った事を後で聞いてビックリした	
	△		独居高齢者の孤独、廻りの交流(体力もお金もある人で閉じこもりがちで淋しいと言っている)昔は年寄り同士集まっていたけど	
	×	6	独居の方の事故や家で倒れられた際、発見者がいなかったり発見が遅れたり	
	×		認知症になった家族をかかえて苦勞されている家庭が身近に数人居られる	
	×	6	バリアフリー化ができていない	
	×		近所に1人暮らしの高齢の人多いみたいだけど、どうヘルプしてよいか分らない	情報が分れば。ヘルプする方法が分れば
	×	6	隣に住む独居老人の方が今までに2回庭で倒れて(数時間)入院されたことを後で聞いて驚いた。勝手口のドアはなるべく開けているようにしているが、なかなか一日中気にかけてはむづかしい	
×		高齢者の1人暮らしは大変		
×	6	ご高齢の生活が心配(特に病気の方)		
防犯	×		校区内の団地で空き巣が頻発していた時期がある	
	×		公園で酒を飲んで酔っぱらいがいる	
公民館	×	6	町内公民館や民生委員になると忙しいのでなり手が見つからない	
	×	6	子どもが大学生など大きくなると公民館から抜けてしまう(加入世帯が減る)	
	×		公民館に加入していない家庭が多い	
	×		公民館活動に参加しない人がある	
	×		隣組への加入率が低い	
リサイクル	×	6	日常的な地域でのボランティア活動に消極的(公民館、民生委員、福祉員などなど補助的な活動家。イベント(夏祭り、盆踊り、草取り(年回)などはリサイクル(ゴミの)を出す時間帯が早いと感じる	
	×		リサイクルの時に決まりを守らない人がある(分別しないで時間外に出す)	
	△		障害や加齢に伴いゴミを出すのが困難である	
	×		資源ゴミの回収場所で当番になった時、初めてのことでどうしていいのかわからない。	
障害者・家族等のサポート	×	6	子どもに障害があると分かった時に親はどんなことをすればいいのかわかなくてくれる所がなかった	親へのサポートの総合情報があれば良い
	×		障害の等級などによるサービス利用が出来ない「はざま」の方	
	×	6	障害児の学校への送り迎え	具体的なサポート
	×		知的障害者1人暮らし(女)防犯、火の用心、何かあった時(時々遠くの兄妹が月1回来る)	地域の人サポートがあれば(定期的な)
	×	6	独居の方の事故や家で倒れられた際、発見者がいなかったり発見が遅れたりする	
×		バリアフリー化が出来ていないので困る	ユニバーサルデザインの普及	

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
子ども・子育て	×		子どもが安心して遊べる所がない	昔のように見守ってくれる大人がいれば
	×		小学校、中学校義務教育なのに費用が高い	公的サポート
	×		3歳未満保育園の費用が高かった	
	○		小学生、中学生の朝のあいさつ運動、挨拶できない子が多い	
生活環境			家の中に蛇が入ってきて困った	
	×	6	防犯灯の電気料を払う世帯と払わない世帯があるので不公平だと言われる	
	×	6	商店街が衰退している。高齢者が通える店が少なくなってきた	
	×		夜、バイクが走り回りやかましい	
	×	6	空き家の庭の雑草が気になるので手の届くところは取っているが、なかなか入り込んでまでは取れない	
	×		道路に雑草がはみ出て道路が通りにくい	
	×		商店街が活気無く心配	
	×		空き地にポイ捨てのゴミが沢山ある	
	×	6	海(海岸や砂浜等)にゴミが多く危ない	
×	6	敷地内にゴミを捨てられる		
ご近所	○		近所の人顔と名前、知らないことがある	
	○	6	近所の人で仕事をしている人同士(働く若い世代)は意外と顔を知らない	
	○		隣組の人に回覧板を持っていくがなかなか会えなくて郵便受けに入れるしかない。顔見知りになりたいのだが…	
	○		あいさつをもっとしたい	公民館隣組への参加
	○		近所の人達との挨拶	
	○		近所にどんな人が住んでいるかわからない	
	○		仕事をしているせいか夜しか帰宅しないので地域の事にうとい	
	○		近所の繋がりが少ない	
労働環境	×	6	大牟田市内に働く場が少ない。家と働く場が遠い。若い人は市外に出て、高齢者が残る	

第2班

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
障害者	×	6	障害者の中でも特に精神障害者は割引がなく作業所へ通う、病院へ通うための交通費がかかり作業所へ通って月々5,000～10,000円いただいたとしても残りは2,000～3,000円という方も多い。手帳所持者の割引についての再検討が必要だと思う	
	×	6	障害児の親、家族に対する具体的な支援をして欲しい。緊急の際、難しい手続きなどなく、預ってもらえるハードとマンパワーが欲しい	
	×		精神障害者の昼間の居場所がない	
	×	6	障害児と障害のない子どもが日常的にかかわれる場がない	
災害	×	6	災害の時、要援護者と支援者を兼ねているが情報の共有がない	
	△	6	台風の時(台風接近時)に不安	
ゴミ捨て場所	○	6	ゴミの分別がわからない	
		6	リサイクルゴミを出す場所がない	
マナー	×	6	路上駐車がなくて困っています	
	×	6	公園に猫のオムツやゴミを持ち込んでいく人がいる	
人口の構成	×		地域で若者が少ない	
住環境	×	6	子供の遊び場が少ない。道路で遊んでいる	
	×	6	子どもだけで安心して遊べる広場が少ない	
	×		住環境の悪い所にお年寄りが住んでいる	
	×		空き家が多い	
	×	6	高齢者向けの道路整備がされていない	
	×		空き家が多い。1人暮らしの人、高齢者とのつながりが多い	
	×	6	河川が汚い。掃除するきっかけがない	
	×	6	歩いて行ける距離にスーパーがない	
	×	6	近所に買物する場がない	
	×	6	危険箇所カーブミラー等がない(運転する上で)	
	×	6	市営住宅に住んでいる人はいないけど名前だけはある	
	×	6	所有地の草を刈れない	
	×	6	歩道が歩きにくい(段差が多い)	
	×	6	映画館がない	
	ボランティア	○		近所の1人暮らしの女性(92歳)の除草の手伝いをしていてお助けボランティアが欲しい
○		6	中学生は朝の挨拶が恥ずかしいのか遠慮がち	
○			ボランティア、見守りあいさつをすることで顔見知りになることができた	
コミュニティ	○		縁が必要	
	×		隣近所のことが分らない。地域の繋がりが薄い	
			人と人との繋がりが(地域住民同士)薄い	
		6	隣に住んでいる人の顔を知らない。顔を合わせるきっかけがない	
		6	近所付き合いがない	
		6	自治体組織がない。地区自体が脱退している	
			公民館未加入者との関係	
			町内公民館へ入っていて良かったと思われる取組み	
	6	町内公民館に入っている意味がない		
	△		子ども会での活動。子どもたちとおばあちゃんとの交流	

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
コミュニティ		6	子どもと高齢者のふれあいが少ない	
	△	6	以前は隣組の総会を年1回実施されていたが今は回覧のみでふれあいが無くなった	
	×		昔はお寺が地域の居場所だった。お寺離れ、居場所がない	
	×		昔はお寺が中心となっていておばあちゃんとか子どもが来ていた	
地域のつながり	○	6	子育て世代は家族だけで地域の人達とのつながりは少ない	
	×	6	小学校と地域のつながりが少ない	
			人と人との繋がりが少ない(隣近所)	
		6	地域のつながりが少ない	
	×		地域の人材を取り込み、きっかけをつくって町を活性化	
相談支援		6	近所の人と、ふれあうきっかけが欲しい	
	×		旧住民と新住民に隔たりがある。60世帯の内40世帯が高齢者	
	×		相談支援の従事。行政支援センターにつなぐ前の段階で地域で気軽に相談できる人が欲しい	
	×		認知症についてのアドバイスがあればふせげることもある	
	×		相談の支援が難しい	
	×		民生委員、福祉委員の活動、だいたい150世帯くらい担当	
	×		精神関係、周囲への情報支援	
働く	×		民生委員が誰か分らない。必要な情報が届かない	
	△	6	子どもについての相談を出来る場所が遠い	
			児童委員がいれば	
	×	6	障害者に見合った仕事量。例)普通の人で100できることを障害者は10くらいしかできない時の仕事量の調整をしてくれる仕組みが必要(人、	
高齢者	×	6	障害者の仕事場が、すごく少ない。又、続きにくい支援する体制が必要	
	×	6	障害を持った人達を就職に結びつけるのは社会的エネルギーがないと成り立たない。就職を生活の糧にする人もいれば生きていく糧にしたい人もいる。どう実現していくのが難しい	
	×	6	地域の働く場が少ない	
	×		高齢者などどう対応したらいいかわからない	
ひとり暮らし	×		認知症高齢者が多い	
	×	6	地域で元気な高齢者の活動の場がない	
	×	6	地域で高齢者の居場所がない	
	×		独居老人、孤独死	
	×		1人暮らしの人の情報が分らない	
	×	6	高齢者単独世帯が多い	
少子化	×	6	大型ゴミが出せない	
	○	6	通行に支障のある樹木の枝を無断で切った(居所不明で戸を開けてくれない独居老人宅)	
子ども・子育て	○	6	向こう隣のひとり暮らしの雨戸が閉まったままで心配していたら入院されていた(1週間後、姪の方より連絡)	
	×	6	地域で子どもが少ない	
	×	6	子どもの数が少ないのと交流がないので、どこの子もかわからない	
	×	6	地域で(少子化で)子ども会がなくなっている	
	○	6	下校時の見守り	
	○	6	子どもの通学路に人の目がない	
子ども・子育て	×		子育て世帯への支援。子どもを預ける所がない	
	×		平原校区に学童保育所がないので隣家の小2の児童は保育所で預かって貰っているので施設をお願いしたい	
	×		子育て支援する場が身近な所があればいい、必要	

第3班				
青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
防犯問題	×	6	子どもが近くで遊ぶ所がない	発砲事件など、危険なところに近寄らないようにする
	×		町内の組で夜は必ず電気を付ける。交替でまわる	
	×		人通りが少なく子どもを1人で帰宅させるのが怖い	
	×	6	街灯が少ないところがあり、夜歩くのが怖い(新栄町)	
	×	6	暴走族が多く夜うるさい	
	×	6	発砲事件があつて怖い	
空き地・空き家問題	×		空き巣の問題。火災、侵入者あり	
	×		市でも対応できなく。空き巣の問題	
	×	6	道路の舗装が悪く、車が雨の日に走って水たまりの水を飛ばす	
	×	6	空き地が増えて雑草が覆っている	
	×		壊れそうな家があるが誰か何とかして欲しいけど	
	×	6	空き地の管理が悪い。雑草等が伸びっぱなし	
就業環境	×	6	ニートの問題	
	×	6	仕事がない、給料が安い	
公民館の問題	×	6	公民館加入減について、高齢化での役割をもう少し明確	
	×		公民館加入率の低下	
	×		公民館活動の中で高齢化の問題があり、役を引き受けられないのでやめる人が多い	
	×		全市で皆で話し合つてどうやって解決していくかを検討することが必要	
	×		若い人への説明(加入)が難しいが十分に理解を求める必要がある	
	×		公民館役員はボランティアである。続けていくことが難しい要因	
	○	6	回覧板がまわつてきて色んな行事等があつているのを知つた。住民の努力もいる	
家庭教育	○	6	親と子の触れ合い方	
	×	6	携帯電話所有の低年齢化(ケータイいじめ・出会い系サイトの事件・(メディア)ケータイ依存症)	
	○	6	子どもが親に対する尊敬は?	
	○	6	家庭教育の大切さ	
	○	6	小学生の朝夕(登下校時)の挨拶が少ない	
	○	6	ゲーム脳の問題	
子ども会	×		子ども会加入も減っている。ひとつの目的(学習、スポーツ等)での集団は多くなっている。社会性は子ども会で育っていくのではないか?	
	×		少人数(一桁)の子ども会が増え、子ども会活動が出来ない。やがて子ども会がなくなっていく	
少子化問題	×	6	近所に子どもがいなくて帰宅後に子どもが遊ぶ友達がいない	
	×	6	結婚しても子どもができない夫婦が多い	
	×	6	独身の青年層が多い(少子化に結びついている)	
ごみ問題	○		ゴミの出し方でもめる事がある	外に出すことが1つの理由
	×	6	ゴミ出しの日、カラスが毎回食い荒らす	

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
高齢者問題		6	高齢者が散歩途中、街に捨てられているゴミを拾って来る。それがたまって困る。それでゴミの出し方について工夫してもらえないか一軒一軒の一人一人が(個人の問題かも分からないが)	
			冬暖房器を使用する時期、高齢者宅との連絡を密にする方法は？ガスが発生していても気づきが遅い独居の人へ	
			1人暮らしの人を訪問しても鍵がかかっている入れない、入りづらい	
			1人暮らしの健康状態が悪いのに人の世話にはなりたくない	
			高齢者の孤独死を見逃したことにより地域で連絡網をつくった	
		6	隣近所との連絡がうまく出来ない(つくれない)生活者を地域で守るネット作りはどうしたらよいか	
買物	×	6	歩いていける所に買物する所がない	個人商店がなくなった。大型店の影響
	×	6	高齢者で1人暮らし、近所に店がなく買物で困る	
障害者問題	×		障害児者への理解、受け入れ先が地元がない。親亡き後の心配	理解、啓発が進んでいない
人の交流が少ない	×		隣人同士、顔が見えにくくなっている(生活スタイルの多様化か?)	生活様式の変化・多様化
	×		近所に誰が住んでいるか詳しく知らない	
	×		近所に相談窓口がない(支所もなくなったし)	
	×	6	高齢者二人暮らし。停電の時に困る。一人が呼吸科系の病気で24時、酸素が必要。近所の付き合いがない	
青年層の育成	×	6	街づくりに青年層の姿が少ない	熟年世代に青年リーダー育成の意識がない(青年層の意識、向上心が少ない)
	×		青年リーダーが育っているか？昔は青年学級が盛んだったが今、若者を育成する場はどうなっているのか？市民の意識は？	
マナー	×		違法駐車が多く通行に邪魔	駐車場が少ない。町のつくりかた 法律の問題があり手が出せない
	×	6	自転車の乗り捨てが多く、その処し方に困っている。警察に連絡する方法以外に市全体での処置の方法ははかれあえないだろうか(取組み)	
高齢者問題	×		認知症の方がよく1人歩きされて探すのに大変だが家族の方が施設に入れたくない	社会問題(認知症に対する理解)
	×	6	認知症を近くの方に知られたくなくて隠してあるが近所に話して協力できれば良いが	
	×	6	耳が遠い為、話が思うように、いかず通じない(補聴器はあるがはめると気分が悪い)	年齢とともに聴力の低下
		6	高齢者の方が長いこと奥さんの看病をされていたが亡くなられ無気力である	女性は社会的、男性は孤独
		6	退院後うつ病となり、いつも奥さんと一緒にないと出来ないので困っている	
その他	×		民生委員等のなりても少ない	
	○	6	隣近所との付き合いが悪い。良くする方法を考えるべき	
	○		ボランティア活動をしている中では勉強になってよかった	

第4班

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
子供の 問題			子ども会の参加世帯が減ってきている	
	×		子どもの数が少なくなっているため夏休みのラジオ体操がさみしいです	
	×	6	最近の児童は夏休みの過ごし方がわからない	
地域の 福祉 (子ども会、 障がい者などの 問題)		6	小学校への通学路を昼間歩いてみると、ほとんど人に合わない。子どもたちの安全に不安	
	△	6	民生委員へ相談したことが市の保健師に伝わらない	
	△		行政と地域の声が必要でもスムーズに連結しない傾向有り	
	×	6	世代間交流について(学生と高齢者、子ども見守り)	
	○	6	学生と地域のつながりが薄い(意識も低い)	
		6	隣近所とのつながりがない所があるが老後、もしもの時に心配です	
	×		若い人の地域とのつながりが薄い	
			空き家が多い。防火、防災上心配	
	×		各課題に対してのまわりへの情報周知が必要と思える	
	×	6	商店街がさみしい	
	×	6	集まる場、くつろげる場が街中にない	
	×	6	地域の資源を使った学習&交流の機会が少ない	
	×	6	地域でどのような行事をしているのかが、わかりにくい	
×	6	気軽に近所の人に、ものを頼みにくい		
障害者 問題	×		障害をもっている人が安心して遊べる場が少ない。家にこもりがちになる	障害を持っている方への理解が不足。主体、行政・地域
	×	6	障害のある方の就労の場が少ない	
	△	6	障害のある方への偏見がある	
防火・ 防災・ 防犯問題	×	6	防災時の高齢者安否の確認方法	高齢化。主体、地域
	×		防犯防災への取り組みの強化	
	×	6	1人暮らしで耳の聞こえが悪くなった方にどう災害を知らせるか	
	×		当施設の火災報知設備で聴覚障害を持っている人のための設備が完備しているのかな？	地域の経費負担大、主体、行政
	×	6	通学路の防犯灯設置は公共で出来るか	
	×		黄金町方向へ向かうと夜間暗く感じる	
公民館の 問題	×		公民館の役割。役員のなりてがない。公民館にこだわらない組織でもよい	
	×	6	街灯代を公民館長が集金されていて不在の家には何度も時間を変えたりなどして訪問しなければならないとのこと。大変そう	
	×	6	公民館での神社、地蔵尊(当番)お世話について	
	×		公民館加入率の減。アパート住いや若い人の世帯の加入が少ないと感じる	
	×		加入率40%程度だんだん厳しくなっている	
	×		未加入者からも会費とっては？	
	×		公民館に入らないメリットは何かと聞かれる	
	×		高齢化で地区の清掃等の参加が少なくなった。活性化させるためには公民館活動に育成部活動があるので子どもを差別することは出来ないのでも子どもがいる世帯に特に加入してもらおうようにしているため最近加入率が増加した	
ペットの 問題	×	6	時々、道端や家の前に犬？の糞	
	×	6	捨て猫、野良猫が多い	
	×	6	近隣の猫飼育で困ったことが	

青色カード	自助	記入日	課題・問題点	理由・背景・問題点等
リサイクル・ゴミの問題			リサイクル。公民館に入っている人、入っていない人皆で担当している。又逆もある	
	×	6	リサイクル当番も高齢化しています。どこまで自分で集める場所に持って行けるか、市は以前のように家の前に取りに来てもらえないか	
	×		若い人は自分でリサイクル集積場へ持って行く。地域での役割をいやがる	
	×	6	環境問題の取組み(草刈等)	
		6	自宅近くの道など缶など集める方が殆どいない	
	×		道路わきのゴミが散乱している	
高齢者問題		6	高齢者の買物の手伝い出来ないのか	
		6	日常の食品などの買物に近所にスーパー等がなくタクシーを利用されている	
	×	6	老夫婦や孤老が増え買物などに苦勞していると聞く	
	×	6	半病人の老人が安心して入所できる施設が少ない	
	×	6	療育病床を追われた御年寄り施設で生活できなくなるのか	
	×	6	高齢にはなったが自分の家で1人でいたい、それが出来ないならどこへ行くのか、なかなか決められないとお話を聞きます	
	×		高齢者に対するボランティア活動、広報の必要性あり	
	×	6	家にこもりがちな人への支援	
	×		高齢者の1人暮らしの支えが心配	
	×		高齢化に伴い家屋の老朽化がすすんでいる	
その他	×		地域での支えあいが心配	
	×	6	家が増えない所はどうすればいいのか	